

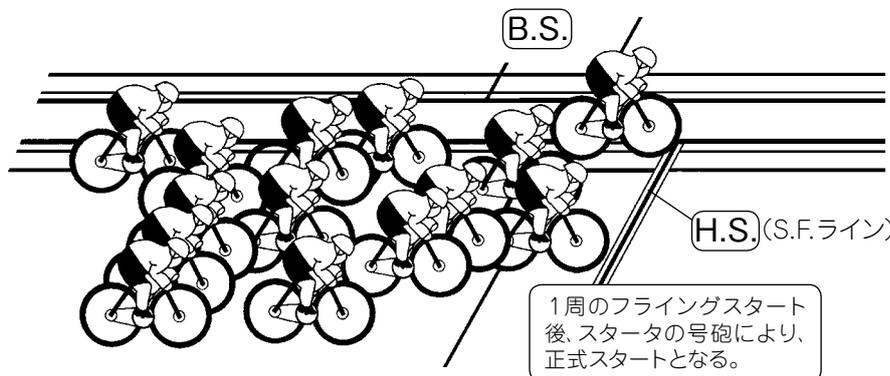
## 《種目の説明》

- スクラッチは、定められた距離を走る個人競技である。中長距離の種目で、ひとこと言えば、トラック競技場で行うロードレースと考えるとわかりやすい。2002年からワールドカップ、2003年からは世界選手権種目とし採用されている。
- 距離は原則、男子エリートは決勝15km、予選10km。女子エリートと男子ジュニアは決勝10km、予選7.5km。女子ジュニアは決勝7.5km、予選5kmの距離で行われる。400mトラックの場合、近い距離で行われる。
- また、スクラッチとは、ハンディキャップなしで競技する意味で、中野浩一選手が世界選手権10連覇した種目名(スプリント←スクラッチ1985年の日本での呼称変更)を想像させるが異なる種目である。
- 時速50kmを超えるスピードでアタックが繰り返される。スピード感と迫力あるレース展開がみどころだ。

## 《競技ルール》

- スタートは、半数の選手が競技場の外柵に沿って並び、他の半数の選手は、スプリンターレーンに一列に並び、一周のニュートラル・ラップの後、フライングスタートを行う。
- 主集団に一周ラップされたと判断されるとレースを降りなければならない。
- 最終順位は獲得周回を考慮に入れて、最終スプリントにより決定する。
- 認められる事故にあった選手には、1300mに最も近いニュートラリゼーションが与えられるが、最後の1kmの間にはレースに戻ることはできない。

### 【スタート】



### 【フィニッシュ】

